

ひろせ寄席

第一部 落語体験ワークショップ 落語体験～あなたも噺家～

平成28年7月10日（日）、広瀬図書館・
広瀬市民センター・広瀬文化センターの3館
連携事業「ひろせ寄席」を開催しました。

今年も、第一部は昨年好評でした「落語体験
ワークショップ あなたも噺家」、そして、第二
部は桂 扇生さんによる「ひろせ寄席 落語で聞く
アンデルセンの世界」の二本立てです！

第一部のワークショップは、噺家の桂扇生師
匠の指導で、9名の小学生に落語を体験してい
ただきました。扇子や手ぬぐいなど小道具の使
い方を学びながら、覚えた小咄を披露しました。

さすがは師匠、表情や仕草、お蕎麦をすす
る音、本当に美味しそうです。師匠の教えを受
けた子ども達も披露。なかなか上手でした。扇
生師匠の軽妙な語り口と、ユーモア溢れる仕
草や表情で子ども達は落語の世界へと引き込
まれていきます。小噺も立派に披露できました。

今年もボランティアとして東北大学、東北学
院大学の落語研究会の皆さんにお手伝いをして
いただきました。あっという間の貴重な2時間。
扇生師匠、ボランティアの大学生の皆さん、あ
りがとうございました。



プロの表現力に視線が集中。



今年も東北大学・東北学院大学の皆さんにアシスタントをお願いしました。



いつものように聞くだけでなく、自分で表現してみよう。
皆さん立派な小噺を披露していただきました。



扇生師匠の教えを経て、子ども達もボランティアの大学生も小噺を披露。

ひろせ寄席
落語で聞く
アンデルセンの世界

ひろせ寄席



第二部
落語で聞くアンデルセンの世界

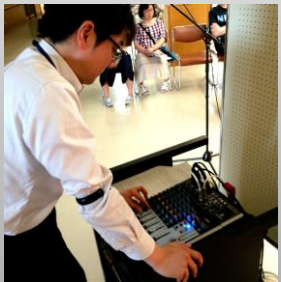


くまのこゝろの豊作に愛むる福生師匠の表情や仕草に、聴かざるはしづかりたらず。

そして、午後からの第二部は、いよいよ、桂扇生師匠による落語の寄席です。3館の職員で設営準備した高座に師匠が登場しました。

一席目は「火うちばこ」。子どもの頃、誰もが読んだアンデルセン童話。時に笑い、時に恐ろしくなり、ドキドキハラハラとページをめくり、涙し、幸せになった数々の名作のなかからお届けします。この「火うちばこ」を日本の江戸時代を背景に創作された力作です。

二席目は「鹿政談」。古典落語の演目の一つです。話術、仕草、表情、どれをとってもやっぱりプロの業。小学生からご高齢の方まで、約80名のお客様にご来場いただいた会場は大きな笑いの渦に包まれました。ご来場の皆さんには本格的な落語を楽しむ貴重な時間を過ごしていただけたのではないのでしょうか。



音響操作は文化センターの“真打”が担当いたしました



落語で聞くアンデルセン童話は、また別の楽しみ方があるのかもしれない